

活動名：第6回福島空港公園杯8人制ジュニアサッカーフェスティバルU-10

日程：平成27年9月26日（土）～27日（日）

会場：福島空港公園緑のスポーツエリア多目的運動広場（天然芝）

参加：E4クラス 13名

帯同：小松・渡辺コーチ

対戦相手：

VS 小野 ○

VS 岩根 ●

VS 北信 JFC ●

VS 常葉 ○

VS 中央ドリマ ●

結果：4位（6チーム参加）

報告：小松コーチ

9月26日土曜日27日日曜日空港公園サッカーフェスティバルに参加させて頂きました。この大会はクラブ代表設楽コーチの職場都市公園緑化協会が管理している空港公園サッカー場で開催されるフェスティバルで私達アーレがスタッフとしてサポートする言わば自前の大会です。

この大会にアーレ4年生がエントリーし私と渡邊コーチが帯同させて頂きました。この4年生、猪苗代フェスティバル、岩根大会、空港公園フェスティバル、そしてリフティング選抜ではありますがピアンコーネフェスティバルと続き冬には喜多方フットサルが続きまさに試合を通してよりスポーツ、サッカーが大好きになるタイミングとなって来ています。

ここまでの戦いは、良くも悪くも4年生らしいと言えらしいのですがまだまだポテンシャルの半分も出し切っておらずこの空港フェスティバルでは流石に優勝からは遠く同率の3位でさえ条件が整いませんでした。

私としては、もちろん勝つと言う部分をお見せ出来ればそれに越したことはありませんが勝つにもさまざまな条件が必要でありアーレは勝てばいい！勝つことが最善！ではありません。

アーレとは、全員試合参加、チームキャプテンはその日その日、もちろんキーパーも試合ごとに交換してみんなで選ぶこと、試合前の全員参加挨拶試合後、そしてお昼はチームみんなで丸くなって食べることです。と、考えてみるとかなり教育的アプローチがある育成と言えるのではないのでしょうか？

各コーチアプローチはさまざまですがここがベースとなりチームの一体感を創り上げ戦うクラブであります。

保護者の方々の目には、どのように映りましたか？

勝つ条件としては、あきらめない、味方の文句を言わない、コーチの話を目で聞いて頭

で理解する、

試合の勝ち負けに流されずとにかく頑張り切る、サッカーは遊びですが本気の遊び心から遊ぶ、そしてその本気から勝ち負けがあり生きている実感をするなどなどです。

ここでお気付きの保護者の方もいることでしょうか。

サッカーの技術的なことはひとことも言っていません。むしろ日常生活で育む養うべき点だと思います。増してやこの点こそが大人になり社会に出て役に立つことだと考えます。

もしかしたらくちで言うことはたやすい事だと言う方がいらっしゃるかも知れません。だからこそスポーツなのです。だからこそ自分で考え自分判断し自分で頑張らなくてはならないサッカーだと私は思います。また、勝ち負け以上に選手全員の頑張りや粘り、折れない気持ちやひたむきさ、本気、をお見せ出来れば良かったと思います。

ひとことで言えば子供は子供らしくとでも言えるのではないのでしょうか？

それでは、最大の敵とは？

そう自らです。自らですが私自身自らと戦うのは至難の技です。

それと同様の敵とは？

仕方の無い話とあきらめて欲しくはありませんそうゲームです。

ゲームは敵です。

先日シルバーウィークでも選手に話をしましたゲームです。

友達が、みんなが、学校で、毎日、土曜日日曜日で、お誕生日に、クリスマスに、……。

ゲームは、一生懸命やっても何も起こりません。

サッカーは、一生懸命やれば必ずや何か起こります絶対に。

ゲームからは、話せない、コミュニケーションを取れない、短絡的になる、辛抱強くない、頭を使わない使えない、子供の言葉使いじゃない、楽な部分だけ美味しい部分だけやろうとする、喜怒哀楽が顔にない、生きている感実感がない、何が楽しくて何が面白いかがない。

はっきり言って弊害の部分の方が多いのではないのでしょうか？

ボールと遊ぶ時間とゲームの時間どちらが多いのでしょうか？

この差だけを見てもわかってしまいますね。

いきなりやるなどは言いませんが大人になった逆算を考えると今やらなければいけないのは……。

戦える選手としてやる選手はやっていることでしょうか。

4年生でも1人だけリフティングが高い選手がおりやっぱりその選手はチームの柱として考えざるを得ません。

素直で素晴らしい選手です。

また、ある保護者からもクラブに頑張りだしありがとうございますとメールを頂きました。

その選手の試合は本当に頑張りが伝わって来ました。

一生懸命やって出来なければ納得出来ず。

そして逆にチームとして優勝候補のひとつ中央ドリマさんとは素晴らしい試合をしました。

それこそ1点を争う好ゲームでしたね。

実際あの試合キーパーは毎回選手みんなを選んでおり初めてやりました。

あれは、ミスではありません。

やれば出来るのです。

もしかしたら勝てましたね。

こんな素晴らしいゲームが出来る選手達です。

そんなお子様を育てて頂いています。

もっともっと認識して頂き御一緒にこれかもお子様のために歩んで行けたらと考えております。

2日間朝はやくから夕方まで応援本当にありがとうございました。

とは言いましても選手も楽しかったと思います。

私自身また学ばせて頂きました。

生意気ながらに1日目の試合後話させて頂きました。

選手達が立派な大人となり社会を支えることを夢みて話しました。

これかもどうぞよろしくお願い致します。

また、参加して頂いた各チームの選手、監督、コーチの皆様本当にありがとうございました。

来年もまた同じピッチでお会い出来ると信じておりますのでよろしくお願い致します。

それではありがとうございました。

コーチ：小松





